

第 4 次総合計画の総括

平成 29 年 3 月 13 日

那覇市総合計画策定推進本部会議承認

1 はじめに

本市は、「なはが好き！みんなで創ろう、こどもの笑顔が輝くまち～亜熱帯の自然と文化が息づく、自治・協働・平和都市をめざして～」を第 4 次総合計画のまちづくりの基本理念として社会インフラの整備とあわせて体系的なまちづくりに取り組んでいる。第 4 次総合計画（基本計画）は、計画期間を平成 20 年度（2008 年度）から平成 29 年度（2017 年度）としており、第 5 次総合計画の策定を見据え、総括を行う時期となっている。そこで、第 4 次総合計画の施策の目標として設定した指標に対する平成 27 年度末の現状値の評価を行い、それをもとに総括を行うこととする。

2 指標の評価基準

第 4 次総合計画の基本計画には、施策の中で取り組まれる事業に明確な方向性を与えるため 112 の指標を設定し、平成 29 年度（2017 年）末での数値目標を“めざそう値”としている。

達成状況の評価基準は、計画策定時に基準となった値や 2012 年と 2017 年における“めざそう値”に対して、平成 27 年度末の現状値がどのような範囲に位置しているかをもって、次のとおり 5 段階で測ることとする。

めざそう値				
基準値	2012年	中間値	2017年	
停滞	推進中	順調	ほぼ達成	達成

3 第 4 次総合計画において設定した指標の進捗状況

	達成	ほぼ達成	順調	推進中	停滞	その他	合計
都市像1	5	1	6	4	4	1	21
都市像2	6	1	5	3	0	1	16
都市像3	3	0	0	7	3	0	13
都市像4	4	1	3	7	5	0	20
都市像5	9	1	0	2	2	2	16
都市像6	7	5	4	5	4	1	26
全体	34	9	18	28	18	5	112

平成 27 年度末の時点で 34 の指標の“めざそう値”を達成しており、率にして 31.8%の達成率となっている。また、9 の指標(8.4%)がほぼ達成、18 の指標(16.8%)が順調、28 の指標(26.2%)が推進中、18 の指標(16.8%)が停滞となっている。なお、5 つの指標で制度の変更などにより測定不能となっている。

※達成率の測定に際しては、測定不能となった 5 つを除き 107 を分母として算出

4 第4次総合計画の総括

第4次総合計画の評価は、「達成」「ほぼ達成」「順調」となった指標が、107件のうち61件となっており、現在、鋭意推進している「推進中」の施策が28件となっている。これらが83.2%を占めることから“概ね良好に推移している”と総括する。

特に、都市像5「人も、まちも活きいき、美ら島の観光交流都市」の政策の1つである「産業の振興」や都市像6「安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市」の政策の1つである「都市防災と防犯」においては、高い割合で“めざそう値”を達成している。

一方で、都市像4「子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市」の政策の1つである「文化の継承と発展」においては、施設の老朽化等の影響で全ての指標で基準値を下回っている。近い将来において、本格的な少子高齢化と人口減少時代を迎えることが想定されており、文化の担い手を育成することは本市の継続的な発展にとって、非常に大事な要素の一つであることから、第5次総合計画の策定に当たっては、文化の継承や発展に対する施策を従来とは異なった視点からのアプローチで検討する必要があると思われる。

また、制度の変更等により測定不能となった指標や“めざそう値”の設定が過大である指標等があることから、第5次総合計画の策定過程においては、引き続き取り組むべき施策、見直しが求められる施策、そして、新たに取り組むべき施策を精査するとともに適切な指標の設定についても検討する必要がある。

【参考：各都市像における指標の評価割合】

